令和7年度 広島大学附属幼稚園（三原園舎）経営方針

経営理念

「自ら伸びよ」の理念のもと、附属三原小学校・附属三原中学校とともに、幼小中一貫教育を基盤とする保育研究・保育実習・教員研修に取り組み、広島大学附属学校にふさわしい指導的役割を果たす。また、教職員の研究・研修センターの役割を担い地域に貢献する。

中期経営計画(2023～2025)

附属三原小学校・附属三原中学校とともに、附属幼稚園（三原園舎）でなければ提供できない保育・研究を展開して「**選ばれる幼稚園**」を目指す。

○保育研究・保育実践

- ・附属三原小学校・附属三原中学校とともに、幼小中一貫教育を基盤とした研究ができる強みを最大限に生かし、12年間を見通した幼児期に必要な資質・能力の育成を目指す。
- ・附属三原小学校・附属三原中学校とともに研究開発学校指定を得て先進的な保育モデルを提供する。

○人材育成

- ・行事、業務、システム等の見直しを進め業務の効率化を図る。
- ・教育実習を充実させ、教職員の養成に努める。

○地域貢献

- ・研修の場の提供や積極的な情報発信によって、モデルとなる幼稚園としての存在意義を高めることで、附属幼稚園が担っている使命を果たす。

2025年度経営方針

○保育研究・保育実践

- ・「光輝（かがやき）」視点の保育実践を通して、汎用的な接続カリキュラムを構築し発信する。
- ・互惠性のある異校種間・異学年交流を追究する。
- ・2園舎化のメリットを活かし、職員・園児の交流活動を通して保育の質の向上に努める。

○生徒指導

- ・良好な人間関係の基盤づくりをするために、子供のコミュニケーション能力の向上に努める。

○人材育成

- ・全ての業務を自己能力の伸長過程と捉え、自らの成長を俯瞰的に評価しながら自己研鑽に努める。
- ・校種に応じた業務の遂行にとどまらず、校種や職種の違いを尊重し合いながら、経営資源（ヒト、モノ、カネ、ジカン）を効率よく活用し、時間管理と個々の働きやすさを追求する。
- ・業務内容の精選や校務分掌の平準化、時間割の弾力的運用等を行い、一人あたりの月時間外労働を38時間未満とする。
- ・教育実習については、実習満足度を高水準に保つとともに、指導する側も自らの教育実を見直す場として「気づき」を大切にする。

○地域貢献・広報

- ・「わかりやすさ」を追求した情報発信を行うとともに、他校園からの依頼(研究協力や講師派遣、視察等)には積極的に対応する。
- ・保護者に対して、幼稚園の教育理念、教育活動とその成果を分かりやすく説明し、学校経営に対する理解を深める。
- ・2園舎化のメリットを活かした活動の様子を通信やHP等で発信する。